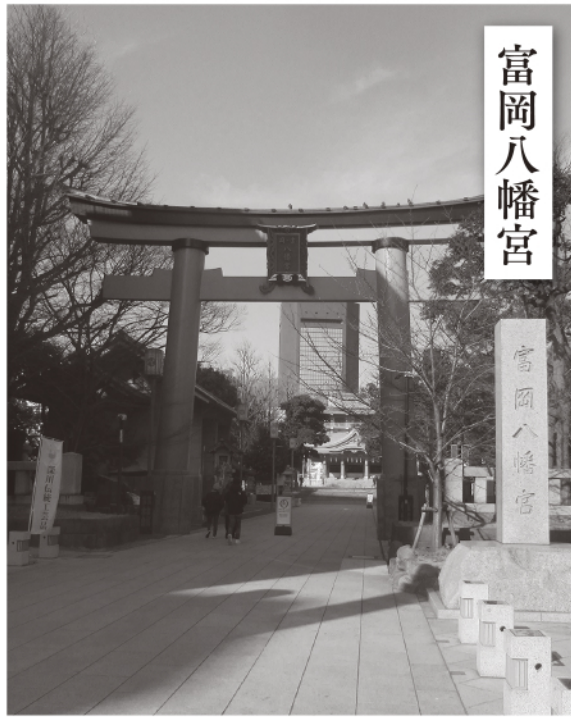


富岡八幡宮



富岡八幡宮

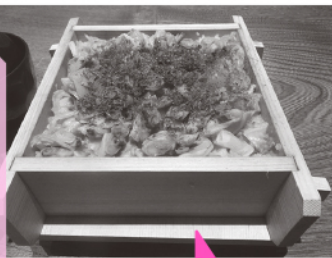
門前仲町

(東京都江東区富岡)

炉端焼き店

門前仲町駅すぐ近くの炉端焼き店。五代と中町は早めの夕食を摂るために初めて訪れている。蒸籠で蒸し上げた深川飯が名物。二人も注文した。

五代や中町がつつい一杯呑みたくなくらい、門前仲町には美味しそうなお店がたくさん。東野さんも編集者と一緒に深川飯や焼き鳥を食べたことがあるそうだが、お酒もすすんでとても美味しかったようです。



深川飯が運ばれてきた。蒸籠から立ち上る香りに、五代は思わず口元を緩めた。

「しばし事件のことは忘れよう」

賛成です、と中町も蒸籠を見つめたまま答えた。

——(本文より)

コーヒーショップ

被害者の白石健介が10月7日と20日に入った、永代通りに面したコーヒーショップ。スマートフォンの位置情報によれば、白石は20日、2時間近くも滞在している。



被害者の白石健介が10月31日の午後6時30分過ぎ、富岡八幡宮に隣接するコインパーキングに車を止めたとされている。白石は10月7日と20日に永代通りに面したコーヒーショップに入っているが、その際もこのコインパーキングを使ったとされている。

東野さんが作品の舞台の一つを門前仲町に選んだのは、この浅羽親子が愛知県から上京し、ひっそりと暮らして、お店をだしていそうな街だと考えたからです。

『あすなる』

永代通りに面した、小さく古いビルの二階にある小料理店。経営者は浅羽洋子で、愛知県瀬戸出身。夫が亡くなってしばらくしてから、上京した。現在は娘の織恵と二人で切り盛りしている。愛知県安城市に住む倉木達郎が客として年数回の頻度で『あすなる』に通っていた。五代と中町はこの情報を受け、浅羽親子に話を聞きに行く。